

くずまき 議会だより



28年度病院事業・簡易水道事業会計決算を認定

新葛巻病院の開院間近

2p

ほすなある食堂休業は 5議員が一般質問

4p

県立高校の存続を要望 ～岩手地区議員大会～

12p

町内工事場所を確認 ～所管事務調査～

14p

笑顔のつどい 26



表紙

葛巻町商工会
青年部の皆さん
(関連16P)

建物本体が完成

新葛巻病院 9月4日診療開始

新病院は住民から多くの期待を持たれていることから、地域医療の充実に向けた取り組み強化と近隣医療機関との連携に努め、より一層の経営努

力をお願いします。

28年度決算は、一般会計からの繰り入れなど、単年度黒字決算となり、累積欠損金が減少しました。経常損失が前年度よりも縮小したことは経営努力の成果です。今後も、医師、看護師、職員が連携し、町民の健康増進のための取り組み強化を望みます。

監査委員の意見

水道は大変重要なライフラインであることから、経営効率を重視しつつ、設備投資の財源確保に努

力をお願いします。

28年度決算は、歳入5億756万円に対し、歳出が4億8652万円で、黒字決算となりました。町の簡易水道統合計画に基づき、簡易水道事業特別会計は28年度決算をもって廃止となり、29年度から複式簿記の水道事業会計となります。

簡易水道会計



完成した新葛巻病院

7月定例会議

7月定例会議は、7月7日から14日までの8日間の日程で行われました。町長から提出された議案は、28年度簡易水道特別会計と葛巻病院事業会計の決算認定や29年度補正予算など9件、すべて全議員の賛成で原案どおり「決定」しました。

一般質問は、議会活性化のため土曜日に開催し、5名の議員が町の対応や考えをいただきました。

本会議では、昨年度に引き続き、沖繩の「かりゆしウエア」を着用して議事に臨みました。



決算審査意見書を提出する監査委員

28年度簡易水道事業特別会計決算状況

区分	28年度	27年度	前年対比
歳入	5億756万円	5億854万円	△0.2%
歳出	4億8652万円	4億9369万円	△1.5%
差引額	2104万円	1485万円	41.7%

め、独立採算を基本とした安定的な水道事業の継続を望みます。

28年度決算は、事業収益10億3940万円に対し、事業費用が8億7922万円で、1億6018万円の純利益を計上し、単年度黒字決算となりました。

これにより、累積欠損金が4億2323万円に減少しました。

病院経営では、禁煙外来、睡眠時無呼吸症候群の検査、訪問診療、フットケア外来や糖尿病教室を継続するなど、医療サービス向上に取り組みました。

病院会計

28年度
病院会計・簡易
水道会計決算
認定

新病院の建物本体が完成し、いよいよ9月4日から外来診療開始となります。(9月1日は休診、2・3日は救急患者のみとなります。)

28年度病院事業会計決算状況

区分	28年度	27年度	前年対比
事業収益(a)	10億3940万円	9億1527万円	13.6%
事業費用(b)	8億7922万円	8億7121万円	1.0%
純利益(a)-(b)	1億6018万円	4406万円	263.5%
年度未累積欠損金	4億2323万円	5億8341万円	△27.5%

(税抜き)

問 病院会計への繰り入れ継続は。

答 29年度以降も、経営状況を見ながら判断していきます。

病院会計
繰り入れ
葛巻病院

問 江刈地区水道の完成見通しは。

答 国の補助金が期待どおりに付かなかつたため、工事が進んでおらず、30年度までの完成は難しい状況です。

江刈地区水道
建設
水道

決算特別委員会
決算特別委員会(山岸はる美委員長)を設置し、7月10日に簡易水道会計決算と病院事業会計決算を審査しました。主な質疑は次のとおりです。



やまぎし み 山岸はる美 議員

問 工事期間中の道路安全策は

答 注意喚起看板の設置で対応

町長 町として詳細な調査を実施していませんが、土木建設業、町内の宿泊業、商工業などに相応の経済効果が生まれてきたものと認識しています。また、税収見込みについては、29年度の現年課

議員 風力発電施設のこれまでの経済効果と、くずまき第二風力発電所の税収見込みについて伺います。

町長 町として詳細な調査を実施していませんが、土木建設業、町内の宿泊業、商工業などに相応の経済効果が生まれてきたものと認識しています。また、税収見込みについては、29年度の現年課

議員 くずまき第二風力発電所建設工事により、町道滝沢・上外川線の工事車両往来が増えることについて、道路の安全対策は十分か伺います。

問 働き手の人材確保対策は

答 各種助成金や補助金を活用

町長 町では、労働力の負担軽減とゆとりある酪農経営を推進しており、酪農ヘルパー要員への福利厚生費に対して助成を

議員 酪農ヘルパーの要員不足について町の支援策を伺います。



造成工事が進むくずまき第二風力発電所

税分の固定資産税総額は、約2億3千万円ほどであり、大きな税収増になるものと思われれます。

町長 町職員については、公募により人材確保を進めています。29年度の正規職員では、7職種12名の募集に対して9名

議員 町職員や町内各業種の人材確保について伺います。

町長 町職員については、公募により人材確保を進めています。29年度の正規職員では、7職種12名の募集に対して9名

一方で、酪農ヘルパーに依存せざるを得ない労働力不足の課題に対応するため、町では26年度から畜産開発公社に育成牛を預託した際の助成を行っているほか、新葛巻型酪農構想で計画しているTMR等の外部委託組織の体制整備に向けた取り組みを進めています。

また、酪農関係従事者の人材育成を目的に農畜産業推進研修助成制度を設けるなど、さらなるヘルパー要員の確保を進めます。

また、事業主に対する雇用補助金制度を22年度から実施しており、28年度には、16事業所、66名の新規雇用に対して総額1500万円ほどの補助金を交付しています。

また、事業主に対する雇用補助金制度を22年度から実施しており、28年度には、16事業所、66名の新規雇用に対して総額1500万円ほどの補助金を交付しています。

また、事業主に対する雇用補助金制度を22年度から実施しており、28年度には、16事業所、66名の新規雇用に対して総額1500万円ほどの補助金を交付しています。

また、事業主に対する雇用補助金制度を22年度から実施しており、28年度には、16事業所、66名の新規雇用に対して総額1500万円ほどの補助金を交付しています。

また、事業主に対する雇用補助金制度を22年度から実施しており、28年度には、16事業所、66名の新規雇用に対して総額1500万円ほどの補助金を交付しています。

7月8日に、5議員が一般質問を行いました。一般質問は、町の行政全般にわたり、事務の執行状況や将来の方針などを幅広い視点から報告や説明を求め質問します。議員の質問できる時間は、1時間以内です。議事録の内容は、町のホームページと議会事務局で閲覧ができます。

問 産直ハウスほすなある食堂休業は

答 総合的に施設の在り方を検討

議員 休業の原因と休業までの経緯について伺います。

町長 「産直ハウスほすなある」は、農林産物や郷土食、観光情報等の提供によって交流の拡大を図り、地場産業の振興と地域の活性化を推進する目的で、隣接する道の駅と一体的に整備した施設です。

本施設内の食堂部分につきましては、11年6月の施設開業当初から土谷川地区の女性を中心とした任意団体組織の「向日葵会（ひまわりかい）」が、町から施設使用許可を受け、地域食材を活用したメニューの提供などで営業を行ってききました。「向日葵会」は、結成当初6名の構成員で活動、食堂経営を開始しましたが、高齢化が進む一方で若い世代の加入が無く、構成員の脱会が進み、29年3

月時点では2名にまで減少したと伺っています。このことから、3月10日に会の代表者より、今後の存続・経営が困難であることを理由に、29年度以降の食堂経営ができない旨と、4月30日をもって会を解散することの申し入れを受けました。

議員 再開の見通しについて伺います。

町長 本施設は、築18年を経過していますが、老朽化により雨漏り対策や外装・内装の改修が必要な状況であるほか、食堂部分にある厨房設備類については、耐用年数を大

幅に過ぎており、使用に耐えない状況であったことから、厨房設備類を撤去しました。

また、産直部分については、スペースが狭く、これ以上販売品目を増やすことができず、多品目化による施設利用者の魅力向上策を進めることができない状況にあり、物販スペースの拡張が課題にもなっています。

しかし本施設は、国の農業農林活性化農業構造

改善事業を活用して整備した施設であるため、利用目的・用途が定められており、用途を変更するには国との協議が必要となります。町では、総合的に判断し、施設の在り方を検討したいと考えています。

なお、当面の間は施設敷地内において、畜産開発公社による軽食の販売を行い、施設利用者の利便性を確保したいと考えています。

なお、当面の間は施設敷地内において、畜産開発公社による軽食の販売を行い、施設利用者の利便性を確保したいと考えています。



すずき みつる 鈴木 満 議員



7月から営業している「くずまき高原ちゃや」



やまざき くひろ
山崎 邦廣 議員

問 道路維持管理の取り組みは

答 柔軟に対応し利便性を確保

議員 町管理道路における歩道などの歩行者に支障となる箇所のある解消と未舗装道の舗装化について伺います。

町長 現在、町が管理する町道は221路線、総延長約317キロ、うち歩道は8路線、総延長3.3キロほどです。

歩行者が往来できるのは路肩や路側側溝となるため、歩行帯となる部分の舗装路面や側溝蓋などの欠損箇所について、地域からの情報や職員のパトロールなどにより、随時補修を行っています。

また、側溝が傾倒している箇所は歩行者の通行状況により、優先度の高い箇所から順に補修を行うて高齢者や児童生徒の安全な通行が確保されるよう努めています。

舗装化については、現在、町道の改良率は71%、舗装率は60%で、26年度

末現在、改良率は県平均を10%弱上回り、舗装率は県平均並みとなっています。

特に生活道路として利用が高い路線は優先的に整備を進めており、町道認定をされずに道路間の連絡的役割を担う路線は、路線の性格、利用状況などの調査により、町道認定、あるいは整備計画に盛り込み、改良・舗装などの事業化を進めていきたいと考えています。今後も状況に応じた柔軟な対応により利便性の確保を図っていきます。

議員 町内の県道と県管理国道2路線の整備への対応について伺います。

町長 岩手県が管理する国道は、岩手町・久慈市間を結ぶ国道281号で町内の区間延長約30.2キロ、歩道延長約13.2キロ、陸前高田市・八戸市間を結ぶ国道340号の

町内区間延長約25.3キロ、歩道延長約10キロの2路線あり復興支援道路に指定される重要路線です。

町の景観形成の観点で自然と融合した豊かな町というイメージを損なわない整備が重要と考えており、現在、工事が進んでいる町道茶屋場田子線は国道のバイパス機能を有し馬淵川の流れを臨んだ景観的にすばらしい路線になると考えています。

町民人口の安定化の観点では、近隣市町村へ時々の空間的短縮が図られることで、町民の利便性の向上、移住定住者の確保にもつながるもので、災害時の緊急輸送道路として機能も向上することから近隣市町村の「安心」にも大きく寄与できると考えています。

こうした観点からも、国道281号の抜本的な



国道281号の路側帯を通行する歩行者

改良整備は重要事項であり、県・国に働きかけているところであり、完成後の町道茶屋場田子線との環状的な道路網の確立など、高い利便性の確保と、住民が安心して住み続けたいと思える「みちづく」を、今後さらに進めたいと考えています。



しばた いさお
柴田 勇雄 議員

問 高齢者福祉の充実は

答 支援員の配置や通院支援

議員 高齢化率の上昇に伴い「老老介護」など諸課題が発生していますが、高齢者が安心して暮らせる対応策を伺います。

町長 29年4月現在の高齢化率は、43.3%となり、今後、高齢者人口は減少しますが、総体的な人口減少から高齢化率は上昇します。町内全世帯数は2769世帯です。このうち一人暮らし高

齢者世帯は705世帯(25.5%)、「高齢者のみ世帯」は1123世帯(40.6%)となります。この5年間で「一人暮らし高齢者世帯」が1000世帯、「高齢者のみ世帯」が150世帯ほど増加し、今後、さらに増えると予測しています。

少子高齢化、人口減少などに伴い、高齢者のみ世帯が増加しており、高



100円バスを利用する通院者

齢者福祉を取り巻く環境は、多様化、複雑化していること認識しています。

町では、介護や福祉サービスの提供、通院が困難な方への訪問診療、通院バス・100円バスの運行、さらに25年度から地域安心生活支援員の配置のほか、今年度から高齢者等へのタクシー助成事業を行っています。

高齢者の福祉住宅建設構想については、住み慣れた地域で、安心して暮らすことができるよう高齢者のご意見や国・県からの情報を収集し、検討を進める考えです。

問 町建物外壁色彩に違和感

議員 町有建物に赤紫色が多用され違和感がありますが、町の色彩景観の方針について伺います。

答 指針策定等の対応を検討

町長 地方創生により地域間競争が高まる中、その地域の特色を生かしたトータル的なブランド戦略等が重要となってきます。新築する町有施設の外壁は、キャッチフレーズをイメージさせる「白」と「ワインカラー」を基調とする戦略的な方針として整備を進めてきました。

町の豊かな自然景観の保全、町並みの形成には、周辺景観と調和する色彩による一定の基準を設ける等の計画的、一体的な取り組みを行うことが一般的な手法と考えます。

8年に策定した「町景観形成基本方針」を策定して以降、見直しを行っていること、景観形成基本方針を策定していないことから県景観条例等を踏まえた指針策定の対応をしたい考えです。



たつやなぎ けいいち 辰柳 敬一 議員

問 酪農構想の現状と見通しは

答 TMR体制の整備に向け準備

議員 TMRセンター(※)設置に向けた取り組みを伺います。
町長 町では、酪農の経営力強化を進めるため、26年度に「新葛巻型酪農構想」を策定し、効率的かつ合理的な生産と生乳の高付加価値化を図ることと、100年先まで持続する酪農郷を目指す取り組みを進めることとしています。
現在、これまでの取り組みの経過を踏まえて、TMRの供給体制の整備に向けた準備を進め、地域内の組織的な利用の体制づくりを検討しています。
TMRセンターの整備につきましては、当初段階からセンター方式を前提とした施設整備にとられず、ある程度の規模で経営を行っている酪農家同士が個々の機械を持ち寄るなどし、共同で混

合生産する方式の検討など、実体を踏まえながら柔軟に検討、対応したいと考えています。
議員 バイオマスプラント建設によって循環型農業の確立が図られるか伺います。
町長 循環型農業の推進については、畜産バイオマスプラントでの処理過程で発生する液肥を草地に還元し、堆肥はデントコーンの基肥として活用することで循環型農業の確立を目指し、余剰となる堆肥については、野菜栽培等での利用促進や、その他の新たな活用策を図ることで、事業効果を最大限に発揮していく考えです。
現在、施設整備に当たっては国の補助事業の活用を検討していますが、農家の増頭が始まる前に一定の道筋を示したいと考えています。



今後の酪農の方向性を考える酪農家の研修会

(※)TMRセンター
サイレージ、とうもろこしなどの飼料、ミネラルなどを混ぜ合わせることで、牛に必要な栄養素を全て含んだ完全飼料を提供する仕組み

問 町民所得向上対策は
議員 町内の働く場の確保と町民所得向上対策について伺います。

答 企業誘致と経営強化を支援
町長 現在、首都圏の岩手県関連企業と盛岡広域8市町で組織する「在京盛岡広域産業人会」ネットワークを活用した首都圏での企業立地セミナーの開催や企業訪問など、広域連携による活動で、新規の企業誘致を始めています。
商店等設備導入支援事業や成功店モデル創出・波及事業、中小企業振興資金融資制度など事業の経営基盤を強化する支援のほか、雇用促進補助金制度では今年度から40歳未満を採用した際の補助金上限額を撤廃するなど、賃金面における労働環境の向上も支援しています。
基幹産業を生かした地域づくり人材の育成、魅力的な観光、特産品の開発、交流人口の拡大などで活性化を図ります。

運動公園ゲートボールコート改修



改修工事を行うゲートボールコート

7月定例会議で、総合運動公園スポーツコート改修工事の請負契約や29年度補正予算などの審議が行われました。主な内容は次のとおりです。

請負契約

- 総合運動公園スポーツコート改修工事
ゲートボールコートを人工芝化し、サッカーやテニスも使用できる多目的スポーツコートに改修
◇契約額 7830万円
◇工期 29年11月30日
◇契約相手 クリヤマ(株) 東京支社【東京都】

条例改正

- 町税条例の改正
個人町民税の配偶者特別控除の対象となる配偶者の所得金額上限を引き上げる改正など。
●財産の交換、譲与、無償貸付等に関する条例の改正
普通財産の譲与又は減額譲渡できる相手方に私人を追加する改正。

●国民健康保険病院事業の設置等に関する条例の改正
新病院建設に伴い一般病床数を60床から42床に変更する改正。

- 葛巻病院使用料及び手数料条例の改正
新病院建設に伴い特別室の使用料を変更する改正。
●養護老人ホーム設置条例の改正
葛葉荘移転(7月19日移転)に伴い施設の設置位置を変更する改正。



新築移転した葛葉荘

【主な質疑】

特別室使用料

葛巻病院

問 一般病床が満床のため、やむを得ず特別室を使用した場合の料金の考え方は。
答 今まで葛巻病院ではそのような事例がありませんでしたが、新病院開院に当たり、運用を検討します。

北緯40度のまちの絆



三種町の三浦正隆町長を表敬訪問

三種町は、秋田県の北西部に位置し、西側が日本海に面した面積248・09平方キロ、人口1万7349人の町です。国内トップの生産量を誇る「じゅんさい」が特産品で、釜谷浜海水浴場に砂像を制作展示するサンドラフトのイベントがあります。

18年3月に琴丘町、山本町、八竜町の三町が合併し、現在の三種町となりました。琴丘町は、葛巻町と同様に北緯40度に位置していたことから、両町では合併前からミニバスケットボール大会で交流が続いています。三種町では、人口減少と高齢化が進んでおり、1980年には2万60

89人あった人口が、2060年には5673人になっていきます。ほかにも、医療費の高止まり、介護給付費の増大といった問題点があったことから、町民の健康に対する意識の向上と、健康づくりの推進を図ることで、町民の健康寿命を延ばし、医療費・介護給付費の抑制を目指しています。

ドイツのクアオルト(※1)を日本に適した方法で取り入れ、野山・砂浜での健康ウォーキング、温泉での水中運動、室内運動の三種類の運動を推進しています。これらに参加することでポイントが貯まる仕組みをつくり、運動の普及推進を図っています。

また、将来的にはヘルスツーリズム(※2)による誘客、交流人口の拡大を目標としています。



水中運動場を見学

秋田県三種町を視察

〜輝くふるさと常任委員会研修〜

輝くふるさと常任委員会(鈴木満委員長)は、4月20日と21日、鈴木町長も同行し、秋田県三種町を訪問しました。自然環境を生かした町民の健康づくり推進の取り組みなどを研修しました。以前から葛巻町と三種町は、スポーツによる交流が続いています。

29年度補正予算

会計名	補正額	補正後の予算額
一般会計(第1号)	4億6372万円	57億3734万円

《主な予算の使いみち》

- 公共施設等整備基金……………3億円(累計残高29億8605万円)
- 公営学習塾運営事業・送迎車両運行業務……………2357万円
- 総合運動公園テニスコート改修工事……………2000万円
- 畜産・酪農収益力強化整備等特別対策事業……………1981万円
- 自治総合センターコミュニティ助成金……………250万円
・寺田自治会(音響設備、簡易物置、投光器)
- 道の駅エリアリノベーション検討業務……………100万円

【公営学習塾の概要】

- ・葛巻高校「勇往会館」で行う自学自習力を養う個別指導方式(費用無料、常勤講師3名)
- ・実績のある民間学習塾との連携による通年塾
- ・開始時期：9月

補正予算

一般会計に4億6372万円追加し、総額を57億3734万円としました。支出では、公共施設

等整備基金に3億円の積み立てなどがありました。補正額と主な予算の使いみちは、左の表のとおりです。

葛巻高校生の「公営学習塾」開設へ

議員の判断(議決結果)

○7月定例会議で、議員の判断で決定した議案(賛否が分かれた議案はありませんでした)

議案等番号	議員名 件名と主な内容	議決結果	議員名											
			畑福弘	山崎邦廣	大平守	柴田勇雄	鈴木満	姉帯春治	山岸はる美	辰柳敬一	高宮一明	中崎和久		
承認1号	町税条例の改正(専決処分)…個人町民税の配偶者特別控除について、対象となる配偶者の所得金額の上限を引き上げる改正など	承認	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-
議案21号	平成28年度葛巻町一般会計補正予算(第1号)…4億6372万円を追加して予算額57億3734万円に	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-
議案22号	財産の交換、譲与、無償貸付等に関する条例の改正…普通財産を譲与、減額譲渡できる相手方に私人を追加	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-
議案23号	国民健康保険病院事業の設置に関する条例の改正…病院新築に伴う一般病床数の変更	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-
議案24号	養護老人ホーム設置条例の改正…葛巻荘移転に伴う位置の変更	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-
議案25号	葛巻病院使用料及び手数料条例の改正…病院新築に伴う特別室使用料の改定	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-
議案26号	総合運動公園スポーツコート改修工事の請負契約の締結…請負者:クリヤマ(株)東京支社【東京都】契約金額:7830万円	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-
認定1号	平成28年度葛巻町簡易水道事業特別会計決算の認定	認定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-
認定2号	平成28年度葛巻町国民健康保険病院事業会計決算の認定	認定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-

※ ○は原案に賛成。
※ 議長は採決に加わりません。

岩手地区区市町連携で共通課題を解決へ

岩手地区議会議長会の要望内容（要約）

- ① 広域的な観点からの道路の整備促進
- ② 地域振興の観点からの道路の整備促進
- ③ 県立高等学校の存続（1学年2学級の継続など）
- ④ 魅力ある農業農村を復活させる農業振興策の推進
- ⑤ 100年先の山村経営を見据えた林業振興策の推進
- ⑥ 農業農村整備にかかる財源確保
- ⑦ テレビ共同受信施設の改修に対する財政支援



大会決議を行う中崎議長（左）と議長団を務める鈴木議員（右）

岩手地区議会議長会（佐藤弘吉会長・岩手町議会議長）主催による、第64回岩手地区議会議員大会が、7月28日に当町のもく・木ドームで開催されました。地区内の議会議員、来賓に県議会議員と市町長ら約80人が参加し、さらなる地域の発展を相互に確認し親交を深めました。

県立高等学校の存続 1学年2学級の継続など

共通課題を決議

この大会は、滝沢市、岩手町、雫石町、葛巻町で構成する市町議会が、共通する地域課題の早期解決に向けて互いに協力するため、毎年開催しており、今年も当町のもく・木ドームが会場となりました。

大会では、道路整備など喫緊の課題7項目を、各市町の議会議員がそれぞれ提案。本町からは、山崎邦廣議員が「県立高等学校の存続」について特色ある学校経営に配慮し、1学年2学級を継続するなど、均衡ある高等教育を確保できるような提

案しました。満場一致で承認された7項目は、8月に地区議会議長会が県選出国会議員や県の関係機関に対して要望活動を行います。10月には、岩手県選出国会議員や国の関係機関に要望を行う予定です。要望を行う主な内容は、左の表のとおりです。



提案説明する山崎議員

岩手の未来を学ぶ

～産学連携研究員の講演～

岩手地区議会議員大会終了後、東北大学大学院環境科学研究科産学連携研究員の内山愉太（うちやまゆうた）氏による講演会が開催されました。

「岩手の地域社会の未来へ人口減少社会に磨く地域の宝」と題し、岩手地区内市町の農業の概要について触れた後、岩手県は北海道、青森県に次いで、全国第3位の自然エネ

ルギー供給地であり、潜在能力が高い地域であることの説明がありました。そのほか、農産品のブランド化の事例や、未来に向け地域に今あるものを強くすることで、特色ある食料・農業を展開することなど、今後の地域づくりの参考となる講演内容でした。



講演する内山氏



④ リフォームした旧遠藤邸



③ 今年度に長寿命化工事を行う馬淵橋



① 江刈地区水道の状況を確認（日渡橋周辺）

現地状況を確認 地域要望の実現へ

① 江刈地区水道の状況を確認（日渡橋周辺）

ハード事業を集中調査

「輝くふるさと常任委員会」所管事務調査

輝くふるさと常任委員会（鈴木満委員長）は6月8日と9日、28年度に完了した事業と29年度に実施する工事場所などの調査のため、町内を視察しました。
2日目は、県盛岡広域振興局土木部岩手土木センター（北村安所長）と「県営工事の情報交換会」を開催。鈴木町長、觸澤副町長も出席し、県の道路整備事業などについて意見を交わしました。

工事実績と進行の状況

本年の調査では、町道茶屋場田子線の改良整備事業、葛巻病院の改築や葛葉荘、子育て支援住宅建設など、ハード事業を中心に調査しました。そのほか、町有林の森林整備事業などを確認しました。

1

日目は、江刈方面と茶屋場、江刈川方面を調査。町道茶屋場田子線の整備によって、浦子内地区の大橋の架け替えを計画していると説明を受けました。
日渡地区では、江刈地区水道事業の進捗状況は、ほぼ半分まで進んでいる状況の説明を受け、「国からの補助金が厳し



被災した追鍋橋とその周辺を確認

いのは理解できるが、できる限り計画通りに完成するよう努めて欲しい」という意見が出されました。
昨年の台風10号で被災した追鍋橋も視察し、災害復旧事業で橋脚がない橋として架け替えになるとの説明を受けました。

2

日目は、町中心部と田部、小屋瀬方面を調査。
新町地区の旧遠藤邸では、リフォームした内部を確認。「建物奥側と水回りも改修を行えば、リフォーム部分がより生かされる」との意見が出ました。

れている事業の内容は左の表のとおりです。
砂防事業は、ヌナヤ沢が31年度、市部内の沢が30年度に完成の計画であるとの説明がありました。今後も、県と町が情報を共有しながら、連携して進めて行くことを確認しました。

養護老人ホーム葛葉荘では、個室中心になり、建物面積が広がるため「管理が今までの施設と変わってくることから管理体制の充実を」との意見がありました。

県の発注工事 本年度計画は

2日目の調査終了後、町長と副町長も出席して、県との情報交換会を開催しました。

冒頭、県の担当者が、今年度を実施する事業内容を説明。本町で計画さ

《29年度県事業の内容》

種別	工事の内容	工事年度
道路事業	城内小路地区 急カーブ注意喚起のための標識・路面標示設置等	29年度
砂防事業	ヌナヤ沢（平船）砂防事業（ダム1基）	24～31年度
	市部内の沢砂防事業（ダム2基）	21～30年度

《議会から町へ要望》

災害復旧事業は、早期に工事発注願います。
将来にわたる公共施設の効率的な配置や有効活用について検討が必要です。
将来人口の見通しや町の将来ビジョンを見据え、町民及び関係団体と一体となった、新役場庁舎建設計画を望みます。



県との情報交換会（プラトール）

くずまきの笑顔

家族に感謝

うえの なつこ さん
(垂柳)



成人式を迎えることができ、両親や家族に感謝の気持ちでいっぱいです。これからは、少しずつ恩返しができるように頑張りたいです。これからもよろしくお祈りします。

大人の自覚を持って

いちむら たくや さん
(五日市)



成人式を迎えられて、家族には感謝の気持ちでいっぱいです。大人の一員として自覚を持って行動していきます。色々な方の支えがあり今の自分があるので、今度は恩返しをできるように頑張っていきます。

感謝を忘れない

すずまき みなみ さん
(小屋瀬)



成人式を迎えることができ、今までお世話になった方々にとっても感謝しています。ありがとうございました。これからその恩返しをできるように、感謝の気持ちを忘れず、日々過ごしていきたいです。

自覚を持って取り組む

かとう まさと さん
(橋場)



この成人式という一つの節目を無事に迎えることができ、両親やこれまでお世話になった方々には感謝の念が尽きません。これからは成人としての自覚を持ちながら様々なことに取り組んでいこうと思います。



【町内のイベントで活躍する商工会青年部の皆さん】

表紙 (葛巻町商工会青年部の皆さん)

葛巻町商工会青年部の皆さんは、町内の各種イベントを企画・運営している葛巻町商工会の若手会員による部会です。家業の傍ら「くずまきワイン＆生ビールまつり」や「くずまき夏まつり」などのイベントにスタッフとして参加し、盛り上げています。

楽しく活動することをモットーに、町の活性化に貢献しています。

情報公開

議長が議会の対外的活動をするための経費が議長交際費です。各団体の総会、式典の会費が主なものです。

4月	40,000円	(葛巻高校転入職員歓迎会ほか)
5月	44,500円	(葛巻町商工会通常総会ほか)
6月	41,000円	(自衛隊岩手駐屯地創立60周年記念行事ほか)

次の定例会議は**9月1日(金)**です。

編集後記

寒い冬から春を通り越し、暑い夏に入りました。お盆にはふるさとへ帰省されたご家族、友人の方々と思い出作りができたことと思います。夜になると秋を知らせる虫の音が聞こえてきます。一年のたつ事の早さを感じるのは私だけでしょうか？季節の変わり目です。体調には十分注意されてお過ごしください。

広報常任委員会
副委員長 山岸 はる美